

Stage Up

ステージアップ VOL.214 2017年2月1日(隔月発行)

もくじ

2 まち・ひと・多面体
・新城郷土芸能囃子曲持保存会

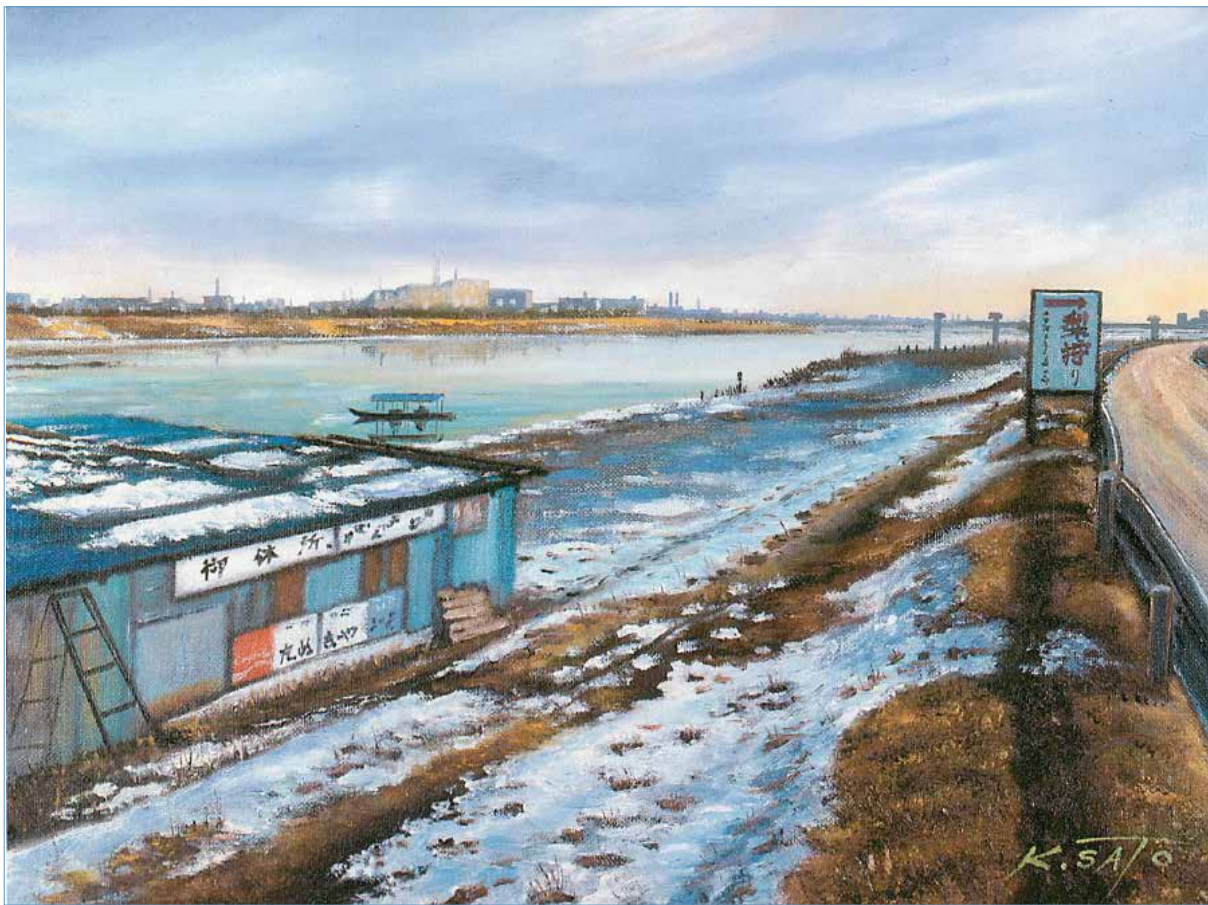
3 シニアのパレット
・飛森谷戸の自然を守る会

4 特集
・一度は行きたい！
川崎の社会見学施設

6 施設めぐり
・高津スポーツセンター
・幸市民館日吉分館
・宮前市民館

7 情報ポケット
H29 年度 第 I 期
・陶芸教室受講生募集
・スポーツ教室のご案内

8 講座紹介
・2017 年度前期かわさき市民アカデミー
地域協働講座
・生涯学習プラザ施設利用紹介



〈川崎百景〉さとう菊夫シリーズ⑥ 菅の渡船場 1981年 油彩

江戸末期から始まった渡し舟は「作場渡し」と呼ばれていた。渡船場は、上菅と下菅につくられ、船頭小屋が置かれていた。現在は民家園に保存されている。村営の渡し舟は、畑作に通う農家は無料だった。1973(昭和48)年に廃止されたが、現在は貸しボート屋が競輪開催日のみ臨時運行している。

〔20数年～40年ほど前の川崎の四季、田園風景、名所、茅葺の民家、寺社仏閣等を描いてこられたさとう菊夫さんの作品をシリーズでお届けします。〕



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ Eメール:stage-up@kpal.or.jp

